



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画通りのサポーター活動が厳しい状況にありましたが、「千年希望の丘だより第5号」では令和4年3月から8月に行われたサポーター活動や、開催されたイベント、トピックス等について紹介します。

「千年希望の丘ファイナル植樹祭」の開催

5月21日（土）、藤曽根公園で公益財団法人鎮守の森のプロジェクト主催による「千年希望の丘ファイナル植樹祭2022」が、開催されました。当日は850名のボランティアの参加があり10,000本の苗木が園路法面に植樹されました。2013年から開催されている植樹祭は今回で最後になり、千年希望の丘には他団体も含めると延べ約4万5千人のボランティアにより約40万本の苗木が植えられました。植樹された苗木は成長して人々の命を津波から守る「緑の堤防」になります。



開会宣言する新川事務局長



細川理事長より菊地前岩沼市長に今まで植樹した337,000本の目録が贈られました。



5号丘に集まった850名の参加者



植樹を行う参加者

大成設備(株)の皆さんによるサポーター活動

5月20日（金）、大成設備株式会社の社員34名の皆さんにより相野釜公園でサポーター活動が行なわれました。今回は東京本社26名の新入社員研修を兼ねており、園内の植栽地での育樹活動、交流センターでのDVDの視聴による防災学習を行い、引き続き語り部の話を聞きながら園内を巡りました。



大型テントで開会式を行いました。



育樹活動をする参加者



慰霊碑前で語り部の話を聞く参加者



2号丘の前で記念写真

日本製紙労働組合岩沼支部の皆さんによるサポーター活動

5月28日（土）、日本製紙労働組合岩沼支部青年女性部の12名の皆さんにより、相野釜公園で除草作業をさせていただきました。当日は快晴で気温がみるみる上がってゆく中、熱心に活動していただきました。



慰霊碑前で記念写真



除草作業を行う参加者



最後にサポータープレートの前で記念写真

宮城県農業高等学校科学部「チームsmiles」による活動

5月28日（土）、宮城県農業高等学校科学部の生徒の皆さんが、桜の補植と育樹活動のため千年希望の丘相野釜公園で活動を行いました。今年から新たに加わった新入生4名も一緒に活動を行い、先輩たちと一緒に桜の補植や育樹活動を行いました。このように先輩たちが積み上げてきた桜の育成活動が継承されてゆくことは素晴らしいことだと思います。ありがとうございました。



交流センター防災学習用DVD映像を視聴



玉夢桜を補植しました。



慰霊碑前で記念写真

山元町立山下小学校の児童が、千年希望の丘相野釜公園で防災学習

6月2日（木）「千年希望の丘相野釜公園」で校外学習の一環として防災学習のため千年希望の丘相野釜公園を訪問しました。新型コロナウィルス感染防止対策のため2グループに分けて見学しました。交流センターでは、東日本大震災の大津波がもたらした甚大な被害の状況や、震災からの復興の様子、千年希望の丘と園路の津波に対する役割等を防災学習用の映像や、パネルを使った説明を聞いて学習しました。また、公園内の慰霊碑や2号丘を見学し、非常時にはテントとして利用できる防災四阿（東屋）の仕組みや、携帯電話の充電もできるソーラー照明、防災用品等収納された防災ベンチの説明を聴き避難丘としての機能を学びました。



交流センターで防災学習用の映像を視聴しました。



避難丘としての機能を確認



慰霊碑前で説明を聴く児童



公園内の震災遺構も見学しました。

東日本大震災追悼行事「希望の灯火」が開催

3月10日（木）、千年希望の丘相野釜公園で今年で4回目となる東日本大震災追悼行事「希望の灯火」が行われ約200名の方が参列されました。また翌日の3月11日には犠牲になられた方を追悼するため、慰霊碑の前に献花台が設置され多くの人々が献花のため訪れ犠牲者のご冥福お祈りしました。



村井宮城県知事をはじめとした参加者代表により点火が行われました。



2号丘への通路にはメッセージが書かれた灯ろうも並べられました。



慰霊碑前には献花を行う人々の長い列ができました。



震災の発生時刻午後2時46分のサイレンに合わせて黙祷しました。

レンタサイクルの案内

千年希望の丘交流センターではレンタサイクルの貸出を行っています。事前の申し込みは不要ですので、皆さまのご利用をお待ちしています。

車種	対象	使用料
普通自転車 フリーパワー 自転車	小学校3年生以上*1	200円/1台 1回
電動アシスト 自転車	中学生以上	400円/1台 1回

貸出期間：4月から11月
貸出時間：9時30分～16時30分
休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）
天候やイベント等により貸出を中止する場合があります。
*1安全管理のため乗車可能最低身長を定めています。
（普通：137cm以上、フリーパワー：145cm以上）

☆☆☆ 交流センターからのお知らせ ☆☆☆

熱中症と感染症対策



気温の高い日が続いていますが、サポーターの皆さまが屋外で作業を行う場合、マスク着用により熱中症のリスクが高まります。2m以上の間隔を開けて会話等行わない場合は、マスクをはずしての作業も考えましょう。また作業中はこまめに水分補給を行い、大量に汗をかいた場合などは塩分も忘れずにとりましょう。詳しくは下記の厚生労働省の熱中症予防情報・資料サイトを参考にしてください。
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/index.html

交流センターへの入館



入館に際しては、感染再拡大防止のため引き続きマスクの着用、手指の消毒、入館者カードへの記入をお願いします。また3密回避のため館内の座席の間隔を開けて設置、換気の実施等の感染防止策は継続しますので皆さまのご理解とご協力をお願いします。

TOYOTIRE（株）仙台工場の皆さんによるサポーター活動

TOYOTIRE仙台工場は、千年希望の丘サポーターとして毎年広範囲にわたり育樹活動を行っています。今年も、6月22日（水）、6月26日（日）、6月30日（木）、7月8日（金）の4日間の活動で延べ219名の皆さんに、二野倉公園8号丘東側の園路の除草活動を行っていただきました。今年は6月29日に東北南部の梅雨明けが発表され、気温の高い日が続いていましたが、社員の皆さんは炎天下、熱中症に注意しながら除草作業を行っていただきました。



8号丘南側に受付が設置。



作業前に注意事項等の説明



園路法面での除草活動



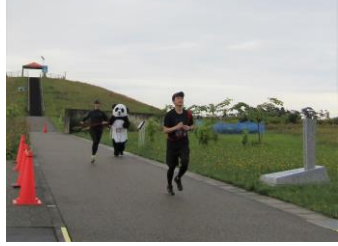
繁茂した雑草と格闘

「たまねぎりレーマラソン」が開催

6月12日（日）、千年希望の丘相野釜公園で神戸市の「チームゼロ」事務局が主催する「第4回玉ねぎりレーマラソン」が開催されました。雨降りの悪天候ではありましたが、92チーム539名の参加があり相野釜公園に特設された1周1kmのコースを快走しました。種目は10Km、ハーフマラソン、フルマラソンがありそれぞれの距離をチームでたすきをつなぎながら走り順位を競いました。



スタートの合図を待つ参加者



1周1kmのコースをたすきをつなげて走ります。



ランナーはコース途中に設置されたエイドステーションでたまねぎを取り走ります。



大会を盛り上げたMCのロジャー大葉さん、ストロングスタイルさんを囲んで記念写真

宮城県農業高等学校科学部が「さくら功労者」の表彰

3月1日（火）、宮城県農業高等学校科学部「チームsmiles」が公益財団法人日本さくらの会の「令和3年度さくら功労者」受賞報告のため岩沼市長を訪問しました。

同校は東日本大震災直後より復興のシンボルとして桜を使った活動を継続的に実施しており、「塩害に強く津波の浸水域に適した桜」の品種改良から、「育てるため」の植栽法の開発、桜を使った「桜塩」の開発など広範囲に活動が行われてきました。また玉浦西地区の名前にちなんだ新品種「玉夢桜」の植樹は被災地の復興と被災者支援に大きく貢献しています。



菊地前市長に報告を行う生徒



菊地前市長と記念写真

「丘サポ・いわぬま」によるサポーター活動

毎月第3水曜日に千年希望の丘の除草や環境美化活動を定期的に行っている団体です。また二野倉公園内には「丘サポ・いわぬま植樹地」を整備し、千年希望の丘の景観向上の活動を続けています。



活動の後、交流センターの前で記念写真

東京五輪聖火リレーの通過記念石碑が相野釜公園に設置

復興五輪を掲げて開催された東京2020オリンピックを後世に伝えようと聖火リレーの通過地となった東日本大震災メモリアルパーク千年希望の丘相野釜公園に聖火トーチをかたどった記念碑が設置されました。記念碑には聖火が通過した日時（2021年6月21日12時11分）が刻まれています。皆さん来園の際は是非ご覧ください。



聖火リレー通過記念石碑

横浜ゴムMBジャパン(株)東北カンパニーの皆さんによるサポーター活動

6月25日(土)、横浜ゴムMBジャパンの社員の皆さんに相野釜公園でサポーター活動を行っていただきました。当日は朝から30℃を超える猛暑でしたが、参加された7名の方々に草刈機や手作業による除草作業を行っていただきました。



手早く除草作業を行っていただきました。



作業が終わりサポータープレートの前で記念写真

（一社）千年希望の丘協会による花壇整備活動

6月19日（日）、千年希望の丘協会の10名の皆様により相野釜公園の花壇にマリーゴールド、ペチュニア約420本の花の苗木を植えていただきました。10月頃まで咲き続けますのでぜひ皆さん公園に足を運んでください。



作業を行う会員の皆さん



植樹された花壇

ブリヂストンタイヤソリューションジャパン（株）の皆さんによるサポーター活動

8月5日（金）ブリヂストンタイヤソリューションジャパン株式会社の5名の方が参加して二野倉公園において育樹活動を行っていただきました。今年の夏は大気不安定な状態が続き雨の日も多く、雑草も例年以上に繁茂していましたが、熱心な除草作業を行っていただきました。



除草作業を行う社員



作業場所から、震災遺構の石蔵と8号丘が見えます。

（公社）宮城県トラック協会仙南支部青年部の皆さんによるサポーター活動

6月18日（土）、二野倉公園の園路の活動エリアで子ども4名を含む23名の皆さんにより、育樹活動を行っていただきました。宮城県トラック協会は、1232社のトラック運送事業者が加盟しており、今までいろいろなチャリティ活動やボランティア活動を行っています。今回は千年希望の丘のサポーターになって初めての活動でしたが、今後ともよろしくお願いいたします。



園路法面の除草作業を行いました。



家族での参加もありました。



活動場所には真新しいサポータープレートが設置されています。



千年希望の丘で岩沼市立玉浦中学校の生徒による植樹活動

6月17日（金）、玉浦中学校の全校生徒231名により植樹活動が行われました。これは東日本大震災の被災校である同校が生徒の防災・減災の意識を高めるための「令和4年度岩沼市未来にはばたく学校づくり奨励事業」の取組みとして行われたもので、被災校として防災・減災に対する意識を高めるねらいもあります。今後、苗木の成長のための育樹活動を行いながら震災の記憶や教訓を後世に伝えてゆく防災教育の場として展開されることを期待します。



慰霊碑の前で開始式



3～4人で1本の苗木を植樹



アカマツ、トベラ等70本の苗木を植樹しました



参加者全員で記念写真